

第2回研究専門委員会開く

森野和子氏講師に各区会長・副会長41名参加



森野和子講師を中心に意欲的に学ぶ参加者

意欲、可能性引き出す

印象決めるのは非言語

コミュニケーションを活性化しよう

多様な人をつなぐのは話し合い

「平成23年度大阪市地域女性団体協議会(市女性研究専門委員会)の第2回が、9月14日、大阪市立男女共同参画センター中央館(クレオ大阪中央)において開催された。参加者は前回と同様、各区会長・副会長41名。司会は矢田貝喜佐枝市女性会副会長により行われた。」

市女性会会長から「研究

専門委員会を前回に引き

続きグループワーク形式

で、森野先生に「指導い

ただく。この学習効果が

女性会の益々の発展と繰

りにつながるよう期待す

る。皆さんには今回もし

つかりと学習内容を理解

し、リーダーとして地域

の会員の方々に還元し、

今後の女性会を育ててほ

「女性大阪」平成23年10月8日(土)

その1

講師は株式会社ライフキャリアデザイン・アソシエイツ代表取締役・森野和子氏。

研修概要

(1)グランドルール(受講の際のお約束ごと)の再確認と名札づくり。

(2)講座を受けるにあたって、「自分のめあて」を明確にする。

(3)ぶりかえりとして、前回のグループワークで出た「女性会に対する現状」をキーワードで確認。大きく分けると①高齢化②会員の減少③会費の減少の3点に集約された。今までのやり方で活動できないのであれば、別な方法を考えれば良い。

「メラビアンの法則」といわれるコミュニケーションの印象を決める割合がある。見た目・雰囲気等が55%、声38%、言葉の内容7%を占める。つまり非言語93%でコミュニケーションの印象が決まるのである。

またコミュニケーションは、相手が受け止めた分が、コミュニケーションの結果である。何を話



発行所
大阪市地域女性団体協議会
大阪市天王寺区上汐5-6-25
クレオ大阪中央内
電話 06(6770)2440番
編集発行人 吉村八重子

★女性の教養と地位の向上のためのもの
です。
★女性の意見発表と交換の広場です。
★市女性会のみなさんのものです。

題字は磯村隆文氏
大阪市女性会ホームページ
<http://www.geocities.jp/shijyoseikai/>

したかでなく、どう伝わったかが重要なつ要になる。くる。

卷之三

Chu-Yen
T. B. Smith
V. D. Knobell
C. E. Holt

キーワードで見る女性会活動の「今」

よい質問でよい答引き出す

かいてみると、全く別物である。受け止めた結果が、それぞれバラバラであることによくわかる。受け手によってコミュニケーションの結果が作り出されたのである。

なり、コミュニケーションは円滑になる。

5445 ± 22

(2) よりよいHIT ユニケーションのためには、まずは信頼関係を築くことが大切。人はお互いに共通するものが多く、多いほど関係性は深く

「ワーク」二人組になつて、「わざと相手の話を聞かない」「しつかりと聞く」ことを体験し、いかに「聞く（きいても

らえる)」ことが大切か
を実感した。

△質問する
□ミュニケーションを円滑にしたり、話し合いを活発化するために、よい質問でよい答えを引き出すことが大事である。

二人組になって、上記の質問を使って会話。研修の中で使った質問フレーズを、日常生活の中でも“使ってみる”ことが大切。特に②と④の質問は、行き詰った状況

りかえりをする。
限られた時間で 相手
に正しく伝えるためには
どうしたら良いかを意識
する」と、また要約して
わかりやすく相手に伝え
ることが大切である。
今日は一対一のコミュニケーション

「ワーワー」といふ言葉で、誰が何をどうしたかの質問をする。この質問は、必ずしも「何を」の質問である。つまり、何をしたかの質問である。

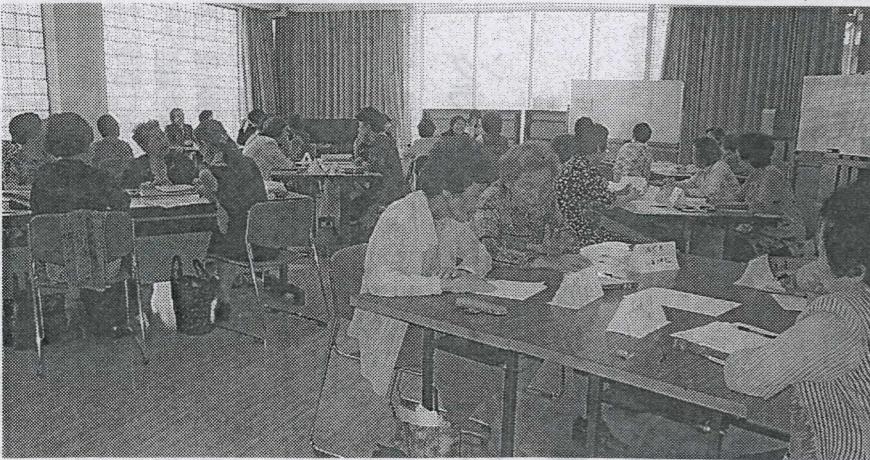
中でも“使ってみる”ことが大切。特に②と④の質問は、行き詰った状況を次に展開することができる。会のリーダーとしてだけでなく、家族間でも求められていることかもしれない。

わかりやすく相手に伝え
ることが大切である。

うな質問)。
二人組になつて、上記
はどんな価値があるか
等、次の展開が見えるよ
う何が手に入るか／それ

へありかえり／
今日一日学習して気づ
いたこと、今後どんなと
ころで使えてうか等、ふ

以上で第2回市女性会
研究専門委員会は定刻通
り終了した。次回は10月
12日に開催予定。



各区から会長・副会長が参加、グループワーク形式で学ぶ

【ワーク】
使って会話。
③なぜ失敗したかに焦点をあてる質問（何が悪かったか／問題は何か／誰の責任か／誰が悪いのか等）、④どうすれば成功するかに焦点を当てる質問（今から具体的にどういう結果をめざすか／今回のこと）で学んだことは何か／今回の経験を次回にどう活かせると思

A black and white photograph capturing a group of approximately 15-20 people in a large, modern conference room. The individuals are seated around several long, rectangular tables, facing each other in what looks like a collaborative or educational setting. The room is characterized by its architectural simplicity, featuring large windows with vertical blinds that provide a view of the exterior. The lighting is bright, coming from both the natural light through the windows and the overhead artificial lights. The overall atmosphere suggests a professional environment, possibly a corporate meeting, a classroom, or a large-scale study session.

A black and white photograph capturing a group of individuals in what appears to be a technical or industrial training workshop. Several workbenches are visible, each equipped with various tools and equipment. The people, dressed in casual attire, are engaged in focused activities, likely participating in a group learning session. The lighting is somewhat dim, creating a concentrated and professional atmosphere.

研修を受講して
地域女性会のなやみと
して①高齢化②会員の減
少③会費の減少の3点が
以前から話題にされながら
、解決できない今まで
した。森野講師の今回の
講義で「今までの方法で
できないなら、別の方
法で考えればよい」、ま
た「できるか、できない
かは別として、まず当事
者である私たちが、あり
たい姿を出し合って、自
分のできる」と持ちよ
つて話し合う」とから始
めなければならぬ」こ
とが分かりました。

なお、「女性大阪9月
号(5088号)」第1回
研究専門委員会記事は、
森野和子講師の高齢なく
掲載しました)とをお詫
びし、1面4段16行目の
「エネルギー」は「NL
P」に訂正させて頂きました。

ミュニケーションを深めなければなりません。遅めるためには聞く（聞くでない）ことが大切で、今日、学習した質問フレーズを日常生活で使い、次回までに復習したいと思っています。

よ
い 質問で よ
い 答引き出す

（質問する）
コミュニケーションを円滑にしたり、話し合いを活発化するために、よい質問でよい答え引き出すことが大事である。

（ワーク）①「いつ／どうで／誰が／何を」のような6W2Hの質問で、言葉の塊をほぐす質問（そのことができた質問）が手に入るか／それら何が手に入るか／それ

（うか等）。二人組になって、上記の質問を使って会話を研修の中で使った質問フレーズを、日常生活の中でも「使ってみる」とが大切。特に②と④の質問は、行き詰った状況を次に展開する」ことができる。会のリーダーとしてだけでなく、家庭間でも求められていることかもしれない。

りかえりをする。限られた時間で、相手に正しく伝えるためにはどうしたら良いかを意識すること、また要約してわかりやすく相手に伝えることが大切である。

今日は1対1のコミュニケーションを学習した。次回からは複数人について、「話し合い」を通じて前回出た「お悩み」解決をめざす。

以上で第2回市女性会

研修を受講して
地域女性会のなやみと
して①高齢化②会員の減少③会費の減少の3点が
以前から話題にされながら、解決でき今まで
した。森野講師の今回の講義で「今までの方法で
できないなら、別の方法で考えればよい」、また
た「できるか、できないかは別として、まず当事
者である私たちが、ありたい姿を出し合って、自分
のできることを持ち合って話し合う」とから始
めなければならぬ」とが分かりました。

ミュニケーションを深めなければなりません。そのためには聞くためには聞く（聞くでない）ことが大切で、今日、学習した質問フレーズを日常生活で使い、次回までに復習したいと思っています。

よ
い 質問で よ
い 答引き出す

（質問する）
コミュニケーションを円滑にしたり、話し合いを活発化するために、よい質問でよい答え引き出すことが大事である。

（ワーク）①「いつ／どうで／誰が／何を」のような6W2Hの質問で、言葉の塊をほぐす質問（そのことができた質問）が手に入るか／それら何が手に入るか／それ

（うか等）。二人組になって、上記の質問を使って会話を研修の中で使った質問フレーズを、日常生活の中でも「使ってみる」とが大切。特に②と④の質問は、行き詰った状況を次に展開する」ことができる。会のリーダーとしてだけでなく、家庭間でも求められていることかもしれない。

りかえりをする。
限られた時間で、相手に正しく伝えるためにはどうしたら良いかを意識すること、また要約してわかりやすく相手に伝えることが大切である。

今日は1対1のコミュニケーションを学習した。次回からは複数人について、「話し合い」を通じて前回出た「お悩み」解決をめざす。

以上で第2回市女性会

研修を受講して
地域女性会のなやみと
して①高齢化②会員の減少③会費の減少の3点が
以前から話題にされながら、解決でき今まで
した。森野講師の今回の講義で「今までの方法で
できないなら、別の方法で考えればよい」、また
た「できるか、できないかは別として、まず当事
者である私たちが、ありたい姿を出し合って、自分
のできることを持ち合って話し合う」とから始
めなければならぬ」とが分かりました。

ミュニケーションを深めなければなりません。そのためには聞くためには聞く（聞くでない）ことが大切で、今日、学習した質問フレーズを日常生活で使い、次回までに復習したいと思っています。